海の近くの家でセックスをする甘々夫婦　若者仲間たちの乱交に参加

都会の生活にほんの少しだけ疲れたとある夫婦が一組。彼女の名前はスミレ、彼の名前はコウイチと言う。

仕事も楽しいが、とてもセックスがしたくなったのだ。

たったその理由ではるばる田舎町へ引っ越してきた二人。

波が高い海の近く。

嵐なども多いが、水着の裸で泳ぐことが出来る。

遠くにゴムボールが見える。

岩場は少ないが山の近くに少しだけあ

る。

近くに桟橋があり景色も綺麗である。

二人は近くの大工さんにセックスのために海小屋を建ててもらった。

ひとまずはそこでたっぷりゆったりセックスライフを二人で楽しむつもりである。

浮き輪とビーチサンダルを借りて泳ぐ準備。

海で泳ぐのもいいが、だけど今に没頭。

海小屋の中で舐め合いながら・・・片手間に漫画や映画などを見て二人は夏を待った・・・・・

だけど今はまだ

少し肌寒い冬である。

とある夜、リビングでテレビのドラマが流れていた午後９時・・・・。

窓の外は小さくすぐ溶けそうな雪が降り続いている・・・・・。

肌と肌とがぶつかり合う音だけが二人の住む家から響いていた。

「パンッ！！パンパンパンッッ！！！」

あっという間に月日は流れて夏が来るのだが・・・・・。

それまでの間、ずっとセックスの研究を二人でしていた。とある場所で手に入れた雑誌で。

海辺の近くにはホテルがあり、そのすぐ近くにはコンクリートの港がある。船停め用の鉄が錆びついている。

そのすぐ横にエッチな内容のものばかりを置いてある少し古い雑誌店があった。

取り寄せるのが困難な雑誌が置いてあるその店。

二人は楽しく笑顔で研究していた・・・。

（体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました）